

令和6年度 事業報告

公益財団法人亀岡市スポーツ協会は、「スポーツに親しみ、スポーツで笑顔、スポーツで元気な亀岡」の実現を目指して、市民スポーツのより一層の推進と競技力の向上のため諸事業を実施した。

また、50回目の節目となる亀岡市民駅伝競走大会は、市制70周年記念・亀岡市スポーツ協会70周年記念でもあり、保津文化センター前をスタート・フィニッシュとするコースで、若干コースを変更し、関係団体と連携し実施した。

【重点事項】

1 運営基盤の整備並びにスポーツ協会の機能の充実

事業の推進に必要な財源を確保するため、賛助会員を募り、多くの会員に御支援をいただいた。

また、本協会が所有するスポーツ用具の貸出しに伴う使用料や、印刷機の使用に伴う使用料により、事業充実のための用具の補充や加盟団体の事業支援を行った。

2 市民スポーツの推進

誰もが気軽に参加できるスポーツ事業として、生涯スポーツデーや、グラウンド・ゴルフを楽しむ会等実施した。スポーツフェスティバルでは、町対抗種目としてソフトボール大会を5年ぶりに復活させ実施を計画したが、あいにくの天候不良で中止した。亀岡市民駅伝競走大会は、記念事業として実施した。

また、当協会のホームページや広報かめおか、新聞等でスポーツの推進に関わる情報の収集と提供を行った。加盟団体には、スポーツ活動に対し、運営活動補助金や事業補助金を交付し、スポーツの推進に努めた。

3 競技力の向上

第47回京都府民総合体育大会は、各競技団体において選手派遣強化費を活用し、選手強化に努め、競技力の向上を図った結果、選手をはじめ関係者の御努力により、14年ぶりに総合優勝することができた。

各競技において、教室や大会等の実施により選手強化に努め、多数のジュニア選手が活躍することができた。

4 指導者の資質の向上と養成

指導者の資質の向上を図るため、北京オリンピック陸上男子400mリレー銀メダリストの朝原宣治さんをお迎えし、「私の歩む陸上競技人生」をテーマで、講演会を行った。

5 スポーツ少年団の育成と拡充

スポーツ少年団は、活動強化事業として亀岡運動公園周辺の清掃活動の実施と、他種目交流事業としてポートボールやドッジボール競技を実施し、団員相互の交流を深めた。

6 都市間交流事業の推進

西京区と亀岡市は、軟式野球競技、グラウンド・ゴルフ競技において都市間交流事業を実施した。

7 指定管理施設の有効活用

本協会が管理している社会体育施設は、安全・安心な状態で利用できるよう維持管理に努めた。また、国際広場球技場のテニスコートがハードコートから砂入り人工芝コートに変わり、4月から供用開始となってから大変多くの利用者が活用した。